

島根県立美術館 ニュース

NEWS_{vol.}098



風を食べ、歩く

砂浜で生きるため

進化する「生命体」
ビースト

中国地方初上陸。

企画展

テオ・ヤンセン展

全点
撮影可

風で動く「ストラランド・ビースト」が
オランダの砂浜からやってくる。

砂浜 生命体

These then, are the holy numbers:
a=38, b=41.5, c=39.3, d=1, e=5.8, f=39.4,
g=36.7, h=65.7, i=49, j=5, k=1, l=7.8, m=15

「ストラランドビースト」とは
なにか

まるで生物を思わせる動きで砂浜を歩く「ストラランドビースト」。オランダ出身のテオ・ヤンセン（1948ー）による、動く立体造形作品です。オランダ語で「砂浜」を意味する「strand」と「生き物」を意味する「beest」を組み合わせた独自の造語で、「ビーチアニマル」とも称されます。その動作はまさに生命を感じさせ、見る者を圧倒しますが、素材はDIYショップなどで販売されるプラスチックチューブや結束バンド、炭酸水用ペットボトルといった、ごく身近で一般的なもののみで構成されているのを知れば、さらに驚かされることになるでしょう。

動きのひみつ

ヤンセンは、チューブの長さや位置関係を示す13の数字「ホーリーナンバー（聖なる数）」を見つけ出しました。脚先が「天使の羽をなぞるような」回転の軌跡を描くことが、「生命らしさ」の大きな鍵となっているのです。また、ヤンセンはこの数字を広く公開しており、彼のビーストのDNAを受け継いだ新たなビーストが、世界中の人々によって生み出されることを歓迎しています。

科学と芸術を横断する、
テオ・ヤンセンとはだれか

デルフト工科大学で物理学を学んだヤンセンは、1975年に研究を中止し画家へと



《アニマリス・ブラウデンス・ヴェーラ》2013年



上/ホーリーナンバー 下/《アニマリス・ムルス》2017年 画像はすべて©Theo Jansen

関連企画

記念講演会

聴講無料

事前申込不要

『大人の科学マガジン』とテオ・ヤンセンのミニビースト

講師 西村俊之(株式会社Gakken 大人の科学マガジン統括編集長
科学創造研究所所長)

聞き手 小田麻子(株式会社Gakkenグローバル戦略室ライセンスチーム リーダー)

日時 7月8日(土) 14:00~(13:30開場/約90分)

会場 ホール(190席・当日先着順)

※その他最新の情報は当館HPをご確認ください。

リ・アニメーション (Reanimation)

要企画展観覧料

ストランドビーストが動くようすをご覧ください。

日時 毎日10:30から60~90分間おきに15分間程度

(最終回は18:30) ※休館日を除く

会場 企画展示室

※当日の状況により、開催時間を変更する場合があります。

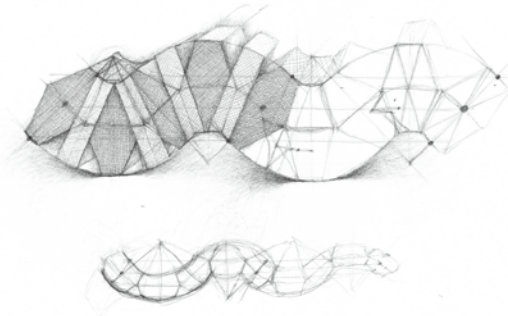
ミニビースト・レース

参加無料

SHOPで販売するミニビーストをうちわで扇いで、レースを行います。自分で作ったミニビーストで参加も可能です。上位入賞者にはオリジナルステッカーをプレゼント。

日時 会期中の土日祝 ①11:30~②14:00~(各回約10分)

定員 各回当日先着10名



アイデアスケッチ



《アニメリス・カリブス》2018年



サンセットプレゼント

要企画展観覧料

各日先着
100名様

会期中の平日(8/14・15を除く)

17:00以降にご来場の方へ

オリジナルステッカーを

お1人様1枚プレゼントします。



※画像はイメージです
※非売品

2023年
7月7日(金)→8月28日(月)

開館時間 10:00~日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

休館日 7月11日(火)、7月18日(火)

プラスチックチューブやペットボトルで構成され、風力により生物を思わせる歩行をするテオ・ヤンセン(1948-)の造形作品「ストランドビースト(strand:砂浜、beest:生命体)」の近作までをご紹介します。展覧会です。

【観覧料】

オンライン・ローソンチケット[企画展+コレクション展セット券のみ]

一般:1,500円 大学生:1,250円 小中高生:600円

当日券[企画展+コレクション展セット券]

一般:1,750(1,620)円、大学生:1,450(1,330)円、小中高生:700(600)円

当日券[企画展のみ]

一般:1,600(1,500)円、大学生:1,350(1,250)円、小中高生:700(600)円

●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めいただけます(ローソンチケット/Lコード62803)●未就学児無料●()内は20名以上の団体料金●小中高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主催:鳥根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
特別協賛:山陰酸業グループ

後援:オランダ王国大使館、鳥根県教育委員会、鳥取県、鳥取県教育委員会、
松江市教育委員会、出雲市教育委員会、安来市教育委員会、米子市教育委員会、
境港市教育委員会、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、
産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、鳥根日日新聞社、NHK松江放送局、
BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン

協力:Media Force、Gakken

進化し続けるビースト

生命の進化に深い関心を寄せるヤンセンのビーストは、環境に適応していくためのシステムを獲得しながらさまざまに変遷し、転向しますが、1990年から風の力で動く「ストランドビースト」の制作を開始し、注目を集めました。1986年から2008年までオランダの全国紙『デ・フォルクスラント』のコラムに自らの思想を著しており、その記事のなかのひとつ「砂浜の放浪者」で、故国オランダの海面上昇問題解決のため、海岸に自生して砂を積み上げる生物が必要だ、という発想を基点としてビーストは生まれたのです。

生命の進化に深い関心を寄せるヤンセンのビーストは、環境に適応していくためのシステムを獲得しながらさまざまに変遷し

ます。全てに必ず冠される「アニメリス」という「学名」も、「海の生物」を意味する造語です。はじめ自立することも歩くこともできなかった段階から、羽や帆に風を受け、食べた風を「胃袋」であるペットボトルに圧縮して蓄えることにより、無風でも動き、強風の際も倒れないよう自らを砂浜に固定し、水没を感じずセンサーを備え、尾を振って注意をひきつける…など生物さながらの進化を現在も続けます。そして本展では、日本初公開となる『アニメリス・スクイーラ』が登場します。はたしてどのような進化を遂げているのか。どうぞお見逃しなく。

(専門学芸員 上野小麻里)

コレクション展

若冲が鶏に込めた想い

尾羽根を振りかざし、少し前のめりになりながらも、片足でバランスをとる雄鶏。地面の餌をついばもうとしているのでしょうか。その傍らには、地面に伏せてお尻を正面に向ける雌鶏が描かれています。雄のアクティブな姿勢に対して、まるで三角形のような形で鎮座する雌の構図は何とも図案的です。また、画面全体に薄墨を刷くことによって、鶏の身体に用いられた白い胡粉の美しさが一層際立ってまいります。

作者の伊藤若冲は自宅に多くの鶏を飼い、その写生を終生行いました。本作は、そんな鶏に対する若冲の的確で優しいまなざしを体感することのできる一幅です。なお画像では見にくいかもしれませんが、本作には可愛らしいヒヨコたちの姿も描かれています。実際の作品を前に、是非本作の魅力を探してみてください。

(学芸員 五味俊晶)

展示室 1 近世絵画
日本画

第4期

7月5日[水] - 8月21日[月]



伊藤若冲《鶏図》寛政元(1789)年頃

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

展示室 3 工芸

ちよこんと工芸

6月21日[水] - 8月7日[月]



大谷歎到《黒鶴蒔絵香合》昭和時代

小さくて、
かわいらしい
作品たち

小さな作品が、ちよこんとある姿はなんとも可愛らしいものです。当館が収蔵する工芸作品の中でも特に小さなものをご紹介します。

展示品の選定基準を単純明快な作品サイズ、具体的にはおおよそ10cm以下のものとした結果、江戸時代後期から現代までという幅広い年代の、陶器や金属、ガラスなど様々な素材の作品が集まりました。いずれも島根ゆかりの作家作品です。

安来市出身の漆芸家大谷歎到の《黒鶴蒔絵香合》は蛤貝を器胎に使った香合で、三羽の黒鶴の飛ぶ様子が蒔絵で描かれています。実物の貝を使った《黒鶴蒔絵香合》とは対照的に、大田市の木工作家三代久雄の《蛭型木呂子》は木材の黒柿を用いて、ふっくらと太った大小の蛭が精緻に表されました。素材の特質を活かしながら高い技術をもって表現する工芸作品の魅力がどちらの作品にも詰まっています。

是非、実物をご覧にいらしてください。

(主任学芸員 山本麻代)

展示室 1 水辺の展示室

第4期

7月5日[水] - 8月21日[月]

当館が所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、9期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。



アルフレッド・シスレー《舟遊び》1877年

第5期 8月23日[水] - 10月9日[月・祝]



ラファエル・コラン《裸婦》1892年

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期

6月21日[水] - 10月9日[月・祝]

今年生誕200年を迎えたアレクサンドル・カバネル、日本近代洋画に影響を与えたラファエル・コランやジャン＝ポール・ローランスといったフランス・アカデミズムの画家たちを中心に紹介します。

第2期

10月11日[水] - 2024年1月15日[月]



三代久雄《蛸型合子》1979(昭和54)年

展示室 3 工芸

ちょこんと工芸

6月21日[水] - 8月7日[月]

当館が収蔵する工芸作品の中でも特に小さなものを集めると、香合や酒器など可愛らしいものが揃いました。小さな作品の世界をお楽しみください。

シルエットでみる河井寛次郎

8月9日[水] - 2024年1月29日[月]



ガートルード・ケーゼビア《女の中にて汝は祝福せられたり》1899年

展示室 4 写真

アメリカの世紀

7月6日[木] - 10月2日[月]

新天地を求めアメリカに渡った人々のエネルギーは、政治・経済・文化など各方面において、20世紀アメリカを世界のトップへと導いていきました。写真においても、まさに世界を牽引した「アメリカの世紀」といえます。写真コレクション約120点でその軌跡を辿ります。

受贈記念II IKKO'S AMERICA

10月5日[木] - 2024年1月15日[月]

展示室 1 近世絵画 日本画

第4期

7月5日[水] - 8月21日[月]

第5期

8月23日[水] - 10月9日[月・祝]

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介します。



田中頼瑋《初夏山水図》大正6(1917)年

展示室 2 北斎

北斎コレクション 第4期

7月19日[水] - 8月21日[月]

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。



葛飾北斎《富嶽三十六景 山下白雨》(新庄コレクション) 天保初期(1830~34)頃 [第4期展示]

北斎コレクション第5期

8月23日[水] - 9月25日[月]

北斎コレクション第6期

9月27日[水] - 10月30日[月]

展示室 5 小企画

しまびコレクション×自由研究 どんな建物をつくる? 菊竹清訓の建築設計

7月13日[木] - 10月23日[月]

当館収蔵品をわかりやすく紹介する「しまびコレクション×自由研究」。今回は、島根県立美術館を設計した建築家・菊竹清訓(1928-2011)の仕事の一部をご紹介します。建築の魅力について考えます。



《島根県立図書館 模型 1:100》制作:島根大学

住友コレクション名品選

— フランスと日本近代洋画 —

稀代の数寄者として知られる住友家15代当主・住友吉左衛門友純ともいと（号春翠しゅんすい、1864-1926）が始めた美術品の蒐集は、長男の寛一（1896-1956）、16代吉左衛門友成ともなり（1909-1993）へと受け継がれ、優れたコレクションが形成されました。とりわけ春翠が1897（明治30）年の欧米視察旅行の際にパリで購入した2点のモネは、日本に請来された最初期のモネ作品として特筆すべき存在です。本展では泉屋博古館東京（六本木）が所蔵する住友コレクションから、クロード・モネ、ジャン＝ポール・ローランス、浅井忠、鹿子木孟郎、藤島武二、岸田劉生らの名品を紹介します。



上/クロード・モネ《モンソー公園》1876年 泉屋博古館東京蔵

下/ジャン＝ポール・ローランス《マルソー将軍の遺体の前のオーストリアの参謀たち》1877年 泉屋博古館東京蔵

2023年
9月8日金 → 11月6日日

開館時間

[9月]10:00～日没後30分 [10-11月]10:00～18:30

（展示室への入場は閉館30分前まで）

休館日 火曜日

関連企画

オープニングセレモニー

参加無料 要事前申込

抽選で30名様をオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテープカットにご参加いただけます。

日時 9月8日金 9時40分～（受付9時15分/約20分）

会場 ロビー

特典 展覧会図録（代表者のみ1冊進呈） ▼申込方法は左記をご覧ください。

オープニングギャラリートーク

要企画展観覧料

講師 野地耕一郎氏（泉屋博古館東京館長）

日時 9月8日金 10時頃～（約45分）

会場 企画展示室

本展監修者による記念講演会

聴講無料

①「モネからはじまる住友洋画物語—近代日本最初の洋画コレクション—」

講師 野地耕一郎氏（泉屋博古館東京館長）

日時 9月9日土 14時～（約90分）

②「美の対決—絵筆を手に西洋文明と向き合った画家たち—」

講師 岡泰正氏（神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館館長）

日時 10月14日土 14時～（約90分）

会場 ①②いずれもホール（190席 当日先着順/30分前開場）

連続美術講座（全2回）

聴講無料

①「フランス・アカデミスム絵画と日本—コラン、ローランスとの関係を中心に—」（仮）

②「日本近代洋画と西洋—外光派リアリズムから日本的フォーヴィスムまで—」（仮）

講師 柳原一徳（当館専門学芸員）

日時 ①9月30日土、②10月28日土 各日14時～（約90分）

会場 ホール（190席 当日先着順/30分前開場）

スライドトーク（担当学芸員による展示解説）

聴講無料

日時 9月23日土祝、10月8日日 各日14時～（約60分）

会場 ホール（190席 当日先着順/30分前開場）

▼その他、関連イベントを用意しております。詳しくは本展チラシや当館ホームページをご覧ください。

オープニングセレモニー 申込方法

申込方法

ハガキまたはFAXに以下の必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前（ふりがな）②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項④FAX番号⑤同伴者のお名前（ふりがな）1名まで可

申込先

〔郵送〕
〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「住友コレクション名品選」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切

8月28日月 当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送（郵送）以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送（8月30日頃）をもってかえさせていただきます。（電話などでの個別のお問い合わせはできません。）

Event イベント情報

◎「住友コレクション名品選」展関連



©2017 あるアトリエの100年上映委員会

〈美術館キネマ〉鑑賞無料

ドキュメンタリー映画「あるアトリエの100年」

(2016年/日本/110分/DVD上演)

日時 10月1日(日)

①10:30～②14:00～(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

演出 山崎欽毅

東京恵比寿に100年前の面影を残すアトリエと、残されていた当時の映像とともに、アトリエの主人たち(洋画家 岡田三郎助、その妻 小説家・劇作家 岡田八千代、洋画家 辻永)を中心に、そこに集った芸術家たちの足跡を描く。

◎「住友コレクション名品選」展関連

〈ロビーコンサート〉鑑賞無料

「フルートとハープで奏でるフランス～日本」

日時 9月9日(土)

①11:00～②15:45～(各回約45分)

会場 ロビー

出演 トーマ・プレヴォ、ニコラ・チュリエ

トーマ・プレヴォ
(フルート奏者)

元フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団首席奏者/パリエコールノルマル音楽院教授 世界最高のフルート奏者の一人としてフランスのみならず日本においても芸術文化の活性化や後進の指導に力を注いでおり、石見銀山国際音楽アカデミーの創設者の一人であり、共同代表およびフルート講師を務めている。

ニコラ・チュリエ
(ハープ奏者)

ルクセンブルクフィルハーモニー管弦楽団を経て、2005年よりフランス放送フィルハーモニー管弦楽団のファーストハープソロに抜擢。また、ルツェルン祝祭管弦楽団、マラー室内管弦楽団、ベルリン・フィル、ロンドン交響楽団、バイエルン放送交響楽団(アバド、ハイティンク)などのオーケストラとも定期的に共演している。



トーマ・プレヴォ



ニコラ・チュリエ

「夏休みアート体験2023 島美建築設計事務所 ～セメントを使ってモダン建築をつくらう！」

参加無料

要事前申込

ここは架空の島美建築設計事務所、その所属デザイナーになりきります。建築の素材であるセメントを使ったブロック、アクリル板等を組み合わせてミニ・モダン建築を作ります。

日時 A 8月10日(木) 10:15～12:15

B 8月11日(金・祝) 10:15～12:15

C 8月11日(金・祝) 14:00～16:00

D 8月12日(土) 10:15～12:15

E 8月12日(土) 14:00～16:00

(計5回実施/各回約120分)

対象 小学4年生以上

定員 各回12名

会場 美術館アートスタジオ

企画協力 島根大学教育学部美術科教育専攻



「島美建築設計事務所～セメントを使ってモダン建築をつくらう！」※イメージ

夏休みアート体験申込方法

件名にイベント名「夏休みアート体験」を明記の上、①氏名(ふりがな)・年齢、②住所、③電話番号、④希望回(第2希望まで可)を書き、当館メールアドレス sam@pref.shimane.lg.jpへお申し込みください。

申込締切 7月25日(火)

※お申込多数の場合は抽選となります。

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※@pref.shimane.lg.jpを受信できるよう設定してください。
※定員に満たない場合は、締切日以降でもお申込みを受け付ける場合がございます。※お客様の個人情報は、当ワークショップの運営以外には利用いたしません。

つくる たのしむ アート スタジオ

毎月第3日曜日の「しまね家庭の日」にあわせ、造形ワークショップを開催します。

「しまね家庭の日」は、家族の絆を強め青少年の健全な育成のための運動です。島根県内文化施設で「家族で来館された高校生以下の入館料等が無料」となります。ぜひご来館ください。



「カラフル・アニマル」※イメージ



「ねんどでお面づくり」※イメージ

要事前申込 参加無料

要事前申込 参加無料

カラフル・アニマル

ねんどでお面づくり

日時 8月20日(日)

日時 10月15日(日)

9月17日(日)

11月19日(日)

各日14:00～(約90分)

各日14:00～(約90分)

会場 アートスタジオ

会場 アートスタジオ

企画・監修 川路澄人(島根大学教育学部教授)

▶参加方法等、詳細は島根県立美術館ホームページでご確認ください。

子どもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間



「絵本とおでかけ展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

日時 毎月第3木曜日

(7月20日、8月17日、9月21日)

各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料



毎日午前は「かぞくの時間」(10:00～12:00)

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

Gallery ギャラリー展示のご案内

会期	展覧会名	内容	問合せ先
7月5日(水) - 7月10日(月)	第62回 島根新協展	1室 島根新協美術会会員による油彩、アクリル、水彩画の作品展。	小山 090-4699-1891
7月14日(金) - 7月17日(祝)	第14回 模型の会「轍」作品展	1室 ブラモデル作品の展示。	坂本 090-4576-3496
7月19日(水) - 7月24日(月)	第20回 おちらと木彫会展示会	2室 木彫彩色レリーフの展示。	島谷 0852-23-5866
7月28日(金) - 7月30日(日)	第14回 日本習字島根千鳥会児童書道展	1室 幼児から中学生の書道作品の展示。	渡部習字教室 090-9414-6098
8月2日(水) - 8月7日(月)	I♡(らぶ) カラフル	1室 アクリル絵の具で描いたイラストの展示。	前迫 080-6242-8522
8月2日(水) - 8月7日(月)	白と黒の表現者	2室 造形、水墨画、写真、ペン画の4人の作家による、白と黒をメインにした作品展。	代高田(よこた) 090-3747-7087
8月9日(水) - 8月14日(月)	京こま展 2023	1室 布を巻き重ねて作る京都の伝統工芸品「京こま」の展示。	京こま雀休(じゃっきゅう) 075-811-2281
8月17日(水) - 8月20日(日)	第59回 八洪会書展	1・2室 八洪会会員による書道作品の展示。	赤木 0852-20-7033
8月23日(水) - 8月28日(月)	令和6年度 愛鳥週間用ポスター図案コンクール作品展	2室 小・中・高等学校及び特別支援学校の生徒が描いた野鳥の作品展。	島根県鳥獣対策室 0852-22-5335
8月31日(水) - 9月4日(日)	第51回 松江市民美術展	全室 市民または市内通勤・通学者及び市内の文化教室受講者を対象とする松江主催の公募展。	松江市民文化振興課 0852-55-5517
9月8日(金) - 9月11日(日)	時を紡いで パッチワークキルト展	1・2・3室 キルト、モラ、フックドラッグの展示。	御興(みこし) 090-7372-4396
9月14日(水) - 9月18日(祝)	第51回 山陰独立書展	全室 島根独立書人団会員の新作などの展示。	山本 090-4657-3545 (SMS連絡希望)
9月20日(水) - 9月25日(月)	第8回 光橙会 油彩画展	1室 光橙会油彩画展(風景画、人物画、静物画)。	島村 090-4147-2755
9月27日(水) - 10月2日(月)	第11回 島根県アンデパンダン展	全室 あらゆる表現様式が対象の無審査、無賞、公募の総合美術展。	山城 0852-25-5941
10月4日(水) - 10月9日(月)	島根正筆会50周年記念 第8回 島根正筆展	1・2室 島根正筆会会員による、かな書道の作品展。	松原 0853-53-0519
10月11日(水) - 10月16日(月)	4つの扉—展覧会の絵—	全室 「絵と音楽を感じる」島根・大阪、4人の作家による 絵画・版画・空間芸術の大規模企画展。	有料 足立 090-4895-7152

○開室時間は通常10:00~18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

「テオ・ヤンセン展」期間限定 セットメニュー

会期中、カンパーニュスライスにスモークサーモンと新鮮野菜をのせたオープンサンドをご用意します。大人気のスープとアフタードリンクがつきます。



「テオ・ヤンセン展期間限定セットメニュー」1,500円(税込)予定

■営業時間 10:00~18:00(美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562
※状況により閉店時刻が早まる場合があります。 ■ディナー(17:00~)※完全予約制

年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。プレゼントとしても購入いただけます。



※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】企画展・コレクション展を何度でもご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 **半額**
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物 **5%OFF**

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

ミュージアムショップ

Museum Shop

テオ・ヤンセン展関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「テオ・ヤンセン展」に合わせて、同展の関連グッズを販売予定です。

公式図録のほかにも「大人の科学マガジン」のふろくとして登場した「テオ・ヤンセンのミニビースト」(3,100円税込)など4つのミニキットを会期中会場限定で販売予定です。夏休みの思い出に親子で作ってみてはいかがでしょうか。



ミニノセロス

オンラインショップ <https://www.sam-museumshop.shop/>

※企画展関連グッズについては、取り扱いのない商品もあります。あらかじめご了承ください。



島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、sameneews@pref.shimane.lg.jpまでメールをお送りください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>